

○ オンラインでの講義紹介

「マーケティング1」 諸上 詩帆 准教授

6月に入り、やっと春学期の講義も軌道に乗り始めたこの頃ですが、オンライン講義は「どのように展開されているか?」「受講している学生の反応は?」など、気になることを実際の講義を取材させていただき、また、先生に直接お話を伺っていくなかで、お伝えできればと思います。

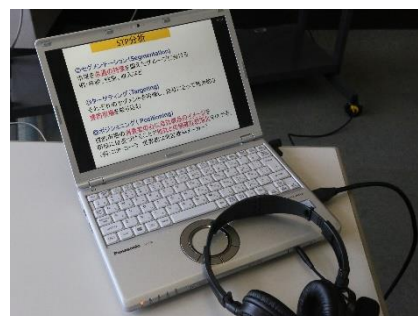
今回取材にご協力いただいたのは、諸上 詩帆 准教授。

「マーケティング1」の講義を取材させていただきました。

マーケティング1は受講生が100名を超える人気講義。

この日は4週目で「STP①(セグメンテーション・ターゲティング・ポジショニング)」というテーマで講義が行われていました。

教卓には、オンライン講義で使用するノートパソコンの他、学生に投影した画面の確認や学生へのリアクションをするためにご準備いただいた、補助用パソコンやスマートフォンが並べられ、それらを講義の進捗に応じて使い分けておられました。



・「使いやすい資料」と「丁寧なコミュニケーション」で学生の理解度向上へ

諸上先生の講義を取材して、特に感じたのは「配布資料の工夫」と「受講生とのコミュニケーションの多さ」でした。

配布資料については、学生への指示が行き届くようにナンバリングがされているほか、画面に投影している資料以外に、学生が資料を確認しながらパソコンでメモが取れるようにワード版の資料を準備、講義資料を共有している Google Classroom で全てダウンロードが可能となっていました。

また、受講生とのコミュニケーションについては、常に声かけをしながら講義への参加を促しており、都度で理解度を確認されているというような印象を受けました。

講義内での学生の回答	
高いコース「顧客が実際に覚えていること」は何か、考察してください。	顧客でれないコース「顧客が覚えているコース」は何か?そして、それをどう伝えたらよいと思うか、考察してください。
得意な気分おしゃれて景色の見えるお部屋	スタッフからの贈られたサービス
字よりも少し大きくても、言葉や図解が広いところ	部屋に対して、他に何がオプション、アメニティなどがついているか聞いている
写真が綺麗に見える記事のある部屋	ルームサービスの質
オシャレでシックな感じの部屋	質の良い接客
日当たりがよく白昼や曇りとした部屋	落ち着いた雰囲気やリラックスできる。
清潔感があり落ち着く部屋	清潔な気分になれる部屋
清潔な気分になれるお部屋	お風呂が広い、景色が綺麗、高級感のある部屋
ゆったり時間を気にせず過ごせる部屋	自分がどうでもよく部屋の隅の隅まで考えお出しする
客室とサービスが高級で光臨らしがたい部屋	丁寧な接客と美味しい料理
ゆったり落ち着ける部屋	豪華なベッドや部屋

(講義内課題の回答抜粋、ほぼ全員が課題に取り組んでいる)

また、講義内課題を実施し、学生の意見や考えをリアルタイムに掲出、解説を加えながら講義を進行するなど、オンライン講義ならではの工夫が取り入れられていました。

このような学生への様々なアプローチは、学生の受講者アンケートでも「その場で取り組む参加型の講義なので、オンラインでも学んでいる実感がある」「パソコンを通じて一対一の感覚で受講できている」など、非常に高い評価として表れています。

・オンライン講義で重要なのは「レスポンス」と「テンポ」

講義終了後、諸上先生に「学生のオンライン講義への取り組み」についてお伺いしたところ、2年次以上の学生については、「ノートパソコンが必携」「初年次のプログラムの中でしっかりリテラシー教育を行っている」ことから、オンライン講義への適応は非常に早く、出席率や課題提出率も例年と比べても高い状況で、ある意味、講義への当事者意識をもって臨めているのではないかとのことでした。

その反面、まだ大学に一度も通えていない1年次生は、講義の受け方から課題提出の方法まで、わからないことだらけ。

不安解消のためには、講義前後はもちろん、メール等での「早め」のフォローアップが不可欠で、出された質問については、次回の講義時に全体に説明をして、共有しているとのことでした。

講義4週目の現在、1年次生について諸上先生は「大学の講義にも慣れ、非常に真面目に、一生懸命講義に取り組んでいる」との印象を話してくださいました。



(マーケティング1の講義風景)

オンライン講義開始当初は、直接学生の反応を見ることができないことから、諸上先生自身もご苦労をされたとのことでしたが、今年度からの100分授業導入も相まって、学生を飽きさせない講義実施に向けて、講義のテンポを重視するために、あえて講義資料の情報量を削減、「説明を聞いて、理解させる」ようにしていると話されていました。

取材の最後に、諸上先生は「学生の皆さんの頑張りには凄い。今後もオンライン講義を進めるなかで、双方向のコミュニケーションの良い方法を模索しながら、しっかり学生に働きかけていきたい。対面での講義ができるようになった際には、オンライン講義での良い所は取り入れつつ、対面ならではのリアル感を演出していきたい。」と意欲的に話してくださいました。

○ 学生 VOICE

学生にオンライン講義の様子や感想を聞いてみました。

・初級簿記

「初めての簿記の学び、オンラインでも丁寧に教えていただいています。」

オンラインでの学びでは「簿記」という科目の理解は難しいと思ったのですが、SNSを通じて知り合った簿記経験者の同級生に相談したところ「そこまで難しくないよ」というアドバイスをもらったので、履修をしました。

実際に受講してみると、ゆっくり、丁寧に先生が教えてくださるので、きちんと理解できており、オンライン講義であることの不便さは感じていません。 (商学科 1年次生)

・心理学

「参加型の講義で理解度アップ、オンラインでも勉強している手応えがあります。」

この講義では、画面を見ながら先生からの話を聞いているだけでなく、講義のなかで QR コードを読み取り、その場で取り組む課題があります。

今回の講義で行ったのは、選択肢を選んで自分のタイプを知る自己分析でしたが、納得できる部分が多く、とても興味深かったです。

その場で何かに取り組む参加型の講義は、オンラインでも自分が講義を受けているという実感を与えてくれます。（商学科 1 年次生）

・キャリア形成3

「グループワークに集中できる環境で、しっかり意見を出し合うことができます。」

キャリア形成3の講義では、少人数のグループワークを行います。

ZOOMの「ブレイクアウトルーム」という機能で、グループごとのミーティングルームを設置してワークを行っているので、今までと同じよう学ぶことができます。

教室でのグループワークと違って、ブレイクアウトルームでは他のグループの会話が聞こえないので、集中して意見を出し合うことができます。（商学科 2 年次生）

・観光調査とフィールドワーク

「みんなの意見をリアルタイムに集計、反映させながら講義が展開されています。」

オンラインでの講義形態ですが、観光地の写真を見て、その写真に対する意見を Zoom のアンケート機能でリアルタイムに集計するなど、講義に参加しているという実感を持つことができます。

また、資料や映像などを共有機能により、受講する環境に関わらず「誰でも」「同じもの」を、自分の PC 上でしっかり確認できることも、オンライン講義のメリットだと感じました。

（観光マネジメント学科 4 年次生）

アンケートや取材を行うなかで、先生方のオンライン講義に向けての講義改善に向けての取り組みや講義実施に際しての準備の綿密さ、学生へのフォローアップの手厚さを感じ、また、それに対して学生たちもオンライン講義を通じて成長しようと一生懸命努力している様子を窺い知ることができました。

取材に快く応じてくださった諸上先生、アンケート・取材にご協力いただいた学生の皆さん、ありがとうございました。